

機密覚え書き

1125 カウパクラ通り
ハイク ハワイ 96708
1982年5月1日

宛先： 前角老師
 ベーカー老師
送り主： ロバート エイトケン老師
主題： 栄道老師に関する公表案

ミネソタ禅メデイテーションセンターより、今年の8月14日～21日の期間、島野タイ栄道老師が臨濟録を語るという発表の通知が私のもとに届き、私は同封の草稿を書き上げました。私はこの草稿を、共に修正して、もし、皆の合意が得られれば、私達三人の署名付きで、しかるべき刊行物に掲載したいと提案します。

私がこのような提案を行う訳は、日本の権威筋が行動を起こす気配はないものと推測され、私達が沈黙を続ける限り島野は相変わらず同じ状態を続けるであろうという事が明らかだからです。私達の沈黙は、達磨を傷つける結果を招く事で、私達自身共犯者と言えると思います。

私は、てつげん先生のしんざんしきが済む迄、私達の発表を見合わせる方が良いとお思いでしたら、喜んでそのようにいたします。また、私は片桐先生を辱めないように考慮したいと思うのですが、発表を6月半ばにして、ミネソタの人々に決心する時間を十分に与える事が重要か、彼らの8月のセミナーが終わるまで待つべきか、まだはっきりわかりません。

私はお二人の決定に従います。迅速に済ませるために、電話会議にするのが良いとお思いでしたら、後で私が要した費用を支払います。

告知

私達は私達の会員に対して、島野タイ栄道を、禅仏教の教師として是認しない旨、ここで表明いたします。過去何年にも渡り、私達はかつての島野氏の弟子に会い、その内の幾人かは私達の集団に加わりました。彼らの話を聞いて、私達には島野氏が個人問題に没頭しすぎて、もはや彼には、仏陀達磨と個人の関係の区別も分からない程、混乱状態に陥っている事が明らかとなりました。

私達は私達の弟子達には、島野氏のプログラムには参加しないように、個人的に忠告を与えていますが、ニューヨーク禅スタディ ソサイエティでの出来事によって、自然に彼の教団はアメリカ禅組織から消えて行くであろうと願って、私達は、一般に対しては沈黙を守って参りました。しかしながら、彼は次々に新しい弟子を招いて、集会を続けている様子です。

そのため、私達の沈黙が島野の行動を是認しているかの如き錯覚を招いている事を、晴らすことに決定しました。私達は是認しませんし、私達の弟子達には、島野氏から出来るだけ距離を置くよう勧告しています。